

今年も来札実現！ 古典の魅力を中心まで。

北インド古典音楽コンサート



井上憲司



逆瀬川健治

2012年9月16日(日) 開場14:30 開演15:00

会場 レッドベリースタジオ 札幌市西区八軒2条西1丁目 札幌琴似教会裏

料金 予約・前売 2,000円 / 当日 2,500円

★9月17日(月・祝)のジョイントライブ(井上、逆瀬川とピロビジャン〜長崎
亜希子、小松崎健)との「2デイズセット券」3,500円もご利用ください。

★裏面の予約票をご利用の上、お早めにご予約ください。

主催/ご予約/お問い合わせ レッドベリースタジオ

TEL 011-633-2535 Email info@akai-mi.com



演奏者PROFILE

■井上憲司 (シタール)

1982年のインド旅行中にシタールと出会う。1987年、カルカッタ在住のジュリ・ディジェンドラ・モハン・ペナルジー氏に師事。滞在中に出演したコンサートが現地のマスコミに高い評価を受け、以後10年余り、年間約半分を師のもとで過ごし、現在も毎年精力的にコンサートやレコーディングを行っている。自身のオリジナル音楽では'90年代から自らのグループ「JAZICO」や「FOOJEAN」を率いる他、多彩なジャンルの音楽家、ダンサー、クリエイターとのコラボレーションも数多く、作曲や編曲を様々な分野に提供し、独自の音楽の可能性を追求し続けている。

CD『水琴窟とタンブーラ』、『JAZICAL WORLD』、『FOOJEAN』があり、2008年に北インド古典音楽のアルバム第一弾「KIRWANI」、2009年にJAZICOの2枚目のアルバム「LIVE AND THEN JAZICO at 音や金時」リリース。神奈川県逗子市在住。

■逆瀬川健治 (タブラ)

1956年東京生まれ。1977年、インド、ネパールの旅でタブラに遭遇。即興音楽の活動をしていた「ヒカシュー」に参加し、ライブ活動、映像の音楽制作で色々な楽器を独自の奏法で演奏。1978年より、インドのカルカッタに於いてタブラの巨匠、バンディット・マハブルシュ・ミシュラ氏に師事。北インド古典音楽のターラ理論(リズム理論)の基礎を学ぶ。ブラック・ダッタ氏に師事。1981年、帰国後、北インド古典音楽をはじめ、ジャンルを超えた演奏活動を展開し日本各地、インド、台湾、香港にて、国内外の音楽家と共演。

2001年 様々なジャンルのミュージシャンの参加により、オリジナル曲による初リーダーアルバム「にぎみたま」を発表。